

信濃川の災いと恵み

五千石遺跡からの メッセーヅ

水害の脅威にさらされながらも、豊かな川の恵みを楽しんだことを示す数々の遺物。大河のほとりに形成されたムラには、川と共に生きた暮らしがありました・・・。
縄文時代から古墳時代の営みが遺された五千石遺跡。その発掘完了から5年を記念し、出土品等の展示を通じて信濃川の災いと恵みを考えます。



GOSENGOKU SITE

開催決定!

◎展示説明会 (講師:加藤)
10月2日(日) 10:00 ~ 10:30
13:30 ~ 14:00

●講演会その1 (講師:加藤)
10月22日(土) 13:30 ~ 15:00

●講演会その2 (講師:松島)
11月6日(日) 13:30 ~ 15:00

講師紹介

- ・長岡市教育委員会 加藤 由美子
- ・燕市教育委員会 松島 悦子

各回定員 30名です。お申込み・お問合せは国土交通省
北陸地方整備局信濃川河川事務所総務課まで。
FAX:0258-33-8168 TEL:0258-32-3020
E-mail:shinano@hrr.mlit.go.jp

期間: 10月1日(土) ~ 11月27日(日)

会場: 信濃川大河津資料館 〒959-0124 新潟県燕市五千石

信濃川の災いと恵み

五千石遺跡からの

メッセージ

主な展示物



深鉢型土器

縄文時代晩期の人びとが日常の食事の煮炊きなどに使用した。たっぷりした深さが特徴で、縄文時代 1 万年にわたって使用された形。斜縄文、綾線文など様々な縄文が施される。



赤彩の壺

高さ約 22cm の古墳時代前期の壺。全面に朱が塗られている。朝顔のように大きく開いた口と丸い胴部は、この時代を象徴するかたち。畿内地方にルーツが求められる。



木製品

右から田下駄、クワの先、スキ 2 点、弓。五千石遺跡では多くの木製品が出土した。農具は稲作をするうえで欠かせない道具であり、どれも村人たちの手作り品である。



白玉
石製模造品

水辺では白玉（首飾りなどにするビーズ玉）が数多く見つかった。県内では珍しい石製品（右下）も出土し、三種の神器の剣と鏡をかたどったものと考えられる。



勾玉

水路跡で見つかった全長約 3 cm の勾玉。勾玉は縄文時代から古墳時代にさかんに作られ、五千石遺跡でも縄文と古墳の 2 つの時代の勾玉が出土した。

展示説明会&講演会

参加無料
定員 30 名
(各回ともに)

< 展示説明会 > 講師：加藤

10月2日(日)

- ① 午前の部 10:00 ~ 10:30
- ② 午後の部 13:30 ~ 14:00

< 講演会その1 > 講師：加藤

③ 10月22日(土)
13:30 ~ 15:00

< 講演会その2 > 講師：松島

④ 11月6日(日)
13:30 ~ 15:00

< 会場 >

信濃川大河津資料館

〒959-0124 新潟県燕市五千石



< 講師の紹介 >



長岡市教育委員会
加藤 由美子



燕市教育委員会
松島 悦子

お申込み

下記にご記入の上、FAX 送信いただくか、下記事項を E-mail にてお申込みください。

に代表者	お名前	参加希望の会に○を記入	お名前	参加希望の会に○を記入	代表者の連絡先電話番号
		① ② ③ ④		① ② ③ ④	
		① ② ③ ④		① ② ③ ④	

送信先 FAX : 0258-33-8168 E-mail : shinano@hrr.mlit.go.jp

お問合せ先 国土交通省信濃川河川事務所総務課 TEL : 0258-32-3020